

バリアフリー ムーブメント Vol.50

「いざ」じゃないとき知る知識！
「いざ」というとき引き出す知識！

バリアフリーな社会を生きるため、
必要なことを先取りしよう！

今回のテーマ インターネットで 事前に情報を入手！

既存の製品をより多くの人が使いやすいようにしてくれるモノ、今まで使えなかったものを使いやすくするためのモノ等、これらからどんどん増えてくるバリアフリー化された製品や情報を紹介しているこのコーナー。

今回は、新生活に役立つ「インターネット」を利用して得られる情報を紹介する。
(森川 美和)

「全国車いす宿泊ガイド」を活用して 事前にバリアフリー情報を得よう！

1984年に第一版を発行した『全国車いす宿泊ガイド』（社）全国福祉推進者連合会発行）は版を重ね、現在第四版が発行されている。2006年には本宿泊ガイドがインターネットでも閲覧できるようになり、車いすを使用している方々をはじめ、そのご家族や関係者の方々にも多く利用されている。

インターネット版「全国車いす宿泊ガイド」では、登録されている各宿泊施設の「バリアフリー」タグをクリックすると、各施設のバリアフリー情報を見ることができ、施設によっては、写真付きで各部屋の様子を詳しく説明しており、ベッド周りやバスルームの広さなどを数値で示しているところもある。

また、目の不自由な人や耳の不自由な人にも配慮した機器や、補助犬ハサポット、駐車場の利用状況、レストランの施設整備などの情報なども知る



■インターネット版「全国車いす宿泊ガイド」
http://www.zensekiren.jp/guide/

■お問い合わせ先
(社)全国福祉推進者連合会
〒134-0085 東京都江戸川区南葛西5-13-6
TEL: 03-5605-0871 / FAX: 03-5605-0872
e-mail: office@zensekiren.jp/
URL: http://www.zensekiren.jp/



を呼びかけてきた。本年4月、趣旨に賛同した（株）日本旅行が、自社のシステムを使い各宿泊施設のページから予約できるように調整していることを発表し、同年5月中旬以降には利用できるよう準備を進めている。

また本システムは、宿泊施設の担当者登録制が自社のページにいつでもアクセスできるようにしているため、常に最新の情報が掲載されるよう仕組みになっている。同会理事長の妻屋明氏は「車いすで暮らしている人でも

普通の人と同じように旅行がしたい。そんな人たちに安心して利用できる、段差のないバリアフリーな全国の宿泊施設の情報をもっと多く提供して、素敵な旅の思い出を沢山つくりたいです」と話す。交通のバリアフリーが進ん

だ今、次は何処に出かけようかという気持ちも出てくる。そんな時に全国の宿泊施設の情報が必要である。障害のある人達や高齢者が安心して旅行を楽しむためにも、より多くの宿泊施設事業者様に参加してもらって、次が目標だ。

購入する前にチェック！ 「ユニバーサルデザイン配慮家電製品」一覧

私達の身の回りはたくさんある家電製品がある。電話、テレビ、オーディオ機器、冷蔵庫、洗濯機、照明器具、電子レンジなど、様々な家電製品が私達の生活シーンに溶け込んで活躍している。これら多種多様な製品の中から、自分にあったものを自由に選ぶことは楽しみの一つだ。しかし、多くの製品の中から自分に必要な機能を持ったものを探すには、時間も労力もかかる。兎にも用にもこの機能は必要（ほしい）という方や、高齢者や障害のある人達にとっても使いやすい製品を知りたいという方には、（財）家電製品協会が提供している「インターネット情報ユニバーサルデザイン（以下UD）配慮製品」は必須である。

「UD配慮製品」は、映像製品、音響製品、調理機器を含む10の項目（写真1）に分類されており、項目中に表示されている製品群（テレビやビデオ、炊飯器等）をクリックすると、メーカー別にUD製品を見ることができ、また製品毎に配慮内容を見ることができ、同協会が定めている以下の配慮事項を表にして、利用者にさらに分かりやすいようにしている。

1. 操作が理解しやすい
2. 表示と表現がわかりやすい
3. 楽な姿勢と動作で負担なく使える
4. 動きやすいなど使用に配慮している
5. 誤操作防止など安全に安心して使える



■「ユニバーサルデザイン配慮家電製品」一覧
http://ud.aeha.jp/

■お問い合わせ先
〒105-8472
東京都港区愛宕1丁目1番11号
虎ノ門八条ビル4階
電話：(03)3578-1311 (代表)



■「共用品推進機構ホームページ」
http://kyoyohin.org/

共用品推進機構 ホームページがリニューアル！

本年度より共用品推進機構のホームページがリニューアルしました。これまで多くの方々にご利用頂いていましたが、最近是一般の方々からのアクセスや問い合わせが増えてきました。リニューアルでは利用しやすいようにコンテンツを分かりやすく、また弱視の人や目の不自由な人にも閲覧していただけるよう、黒地に白字のページやテキストのページも用意しました。(http://kyoyohin.org)